

2021/05/29



Robot Swing Golf

ロボットスイングゴルフ

SWING ANALYSIS REPORT

スイング分析レポート

No. 3847

山田太郎様 JP0



ロボットスイング研究所



この度はロボットスイングゴルフのスイング分析レポートにお申込み頂きまして誠にありがとうございます。

ロボットスイング研究所の所長の柳橋昌行です。よろしくお願いいたします。山田太郎様のコードネームは**JPO**です。このレポートにおいてはコードネーム（敬称略）を使用しますのでご了承ください。

このレポートでは**JPO**の後方と正面のパットイングの分析を行いました。

パットイングに関しましては、画一的なパットイングスタイルはございません。従って、動画のアドレス位置に体の部位、パターシャフトなどにラインを表示しております。そして、フィニッシュまでのストローク中の動きを説明する程度になっておりますので、ご了承ください。

尚、パットイングの練習ドリルも巻末で紹介していますので参照してください。

JPOのパットイング技術の向上にお役にたてば幸いです。

今後とも、ロボットスイングゴルフをよろしくお願いいたします。

※このレポートは個人的なご利用に限ります。SNS、ホームページ、ブログなどには掲載しないでください。（公開不可）

ロボットスイング研究所

所長 柳橋 昌行

USGTF ティーチングプロ



1 アドレス



理想的なパッティングは体のブレが無く、両肩が首の付け根を中心として動きます。両腕は三角形、または五角形のいずれの形でも、ストローク中にその形が崩れないようにします。手首を積極的に使う、パッティングスタイルもありますが、好不調があることを理解しましょう。

2 バックスイング



バックスイングで両腕の三角形が若干崩れているようです。右腕主導でバックスイングしているのかもしれませんが。その動きにつれて、腰も若干後方へ移動しています。(ほんの少しだけ)



3 インパクト



後方から見るとパターシャフトが少しだけ起き上がっています。手の位置が少し前方にあります。

4 フォロースルー



パターヘッドを目標線に沿って押していくパッティングスタイルです。問題はないのですが、一般的には右方向へ打ち出すミスになりやすいです。フォロースルーでは上半身の回転に合わせてパターヘッドも少し左方向に動くのがよいともされていますので、参考にしてください。



5 フィニッシュ



問題ないフィニッシュですが、上半身が少し右に傾いています。練習の参考にしてください。



1 ストロークを感じるドリル

カップまで2mのパッティングのアドレスをとります。次に目と頭をカップに向け、そのままフィーリングだけで通常のストロークを行います。

目的

ストロークにおけるフィーリングをつかみます。このドリルでは、目と頭の動きがストロークに悪影響を及ぼすのを抑制しています。



こちらは一例です
あなた様に合ったその他の有効な練習ドリルを紹介します